令和6年度 大阪府環境審議会 第4回 環境・みどり活動促進部会

議事概要

日 時: 令和6年11月8日(金)15時00分~17時00分

開催方法 : 大阪府咲洲庁舎 37 階会議室(小)(WEB 会議システム併用)

出席者: 增田委員(部会長)、藤田委員、三輪委員、村上委員、畑委員、平井委員

1 開 会

2 議事概要

議題1: 令和7年度環境保全基金活用事業について

事務局より、環境保全基金の推移及び令和7年度事業(案)について説明し、各委員からの意見を踏まえ事務局で検討を進めるといった方向性を確認。委員の主な意見は以下のとおり。

【豊かな魚庭(なにわ)の海づくり活動支援事業】

- 稚魚の放流やアマモの植付といった水産資源の増大を図る内容だけでなく、実際に大阪湾の魚を食べる体験やイベント等も実施できたら良いと思う。消費地と生産地が一体的に展開している大阪の強みを活かすことができたら良いと思う。(増田部会長)
- 府民にとって大阪湾で捕れた魚が食べられるか食べられないかといった観点が重要に思う。食べることを通じて大阪湾の魚が安心であるということが伝われば良いと思う。(三輪委員)

【幼児環境教育実践者育成事業】

• 近年、幼児教育の中での環境教育の意識は高まっており、大阪府下でも環境教育を実施している幼稚園は数多くある。そこから情報収集すると良いと思う。(増田部会長)

【高校生の環境活動推進事業】

- 大学の環境サークルは数多くあり、そこと連携を図っていけたら良いと思う。(畑委員)
- 企業の前で発表をする機会を設けることで高校生のモチベーションが高まるとともに、企業との連携を図るきっかけになると思う。(増田部会長)

【環境保全の普及啓発・行動変容促進事業】

• ネイチャーポジティブ(生物多様性保全)がサーキュラーエコノミー(循環経済の移行) にどのように繋がっていくのかが理解されにくいので、その点をしっかり伝えられるよう に、成功事例・優良事例などを集めて教材に活かせれば良いと思う。(増田部会長)

【清掃活動(ごみゼロアクション)推進事業】

大学の学園祭でごみの排出をゼロに近づけようという取組が実施されている。そのような

取組に対して表彰をおこなうイベントが実施できたら良いと思う。(増田部会長)

(全体を通して)

事業評価について、客観的なデータを取り、次に発展をさせていってほしい。(藤田委員)

議題2:令和7年度みどりの基金活用事業について

事務局より、みどりの基金の推移及び令和7年度事業(案)について説明し、各委員からの意見を踏まえ事務局で検討を進めるといった方向性を確認。委員の主な意見は以下のとおり。

【みどりづくり推進事業】【地域緑化推進事業】

- 活動助成や苗木の配付について、昆虫や鳥類にとってやさしい樹木を配付するなど、ネイチャーポジティブに関連した内容で進めていくのが良いと思う。(三輪委員)
- これまでは多くの人の目に触れる場所など景観的な効果を意識してきたが、今後は生物多様性を意識した視点が重要。また、花壇づくり、植樹、芝生化といった緑化活動自体の内容だけではなく、それらの緑化活動を通じて、子どもたちに学習の機会を提供する、あるいは、農作物を得ることで食育を行うなどの目的や、例えば脱炭素や Well-being との関係などとどのようにつながっているのかを示してもらうことで、環境応答ができるような展開が必要。(増田部会長)

【自然環境保全事業】

(大阪府版レッドリストの改訂)

• レッドリストの改訂については、ボランティア的に協力してくれる団体や愛好家の人たちの存在が重要。協力に対する謝礼なども検討いただきながら実施してほしい。また、種数の多い昆虫と、少ない哺乳類や両生類・爬虫類とは、調査にかかる時間も違うので、できたところから公表してくという手法が良いと思う。(平井委員)

(特定外来生物防除行動の促進)

- クビアカツヤカミキリの捕獲大会については、捕獲状況(分布)をタイムリーに発信できると、参加者のモチベーションが高まり、データの蓄積にもつながると思う。(増田部会長、三輪委員)
- 樹木医会では、クビアカツヤカミキリの駆除などの勉強会を実施しており、データをもっていると思うので、そうしたデータも活用できると良いと思う。(畑委員)
- 時期や仕掛けを作るなど、参加層を広げていく工夫を期待。また、昆虫以外の外来の植物などの分布状況の把握にも展開の可能性があると思う。(藤田委員)

事務局より今後のスケジュールについて説明。

• これまで万博に向けた事業を行っており、令和8年度の事業展開をしていく際にはその総括やレガシーをどう活かしていくのか議論すべきだと思う。(増田部会長)

3 閉 会

以上